

town topics

まちの話題

このコーナーは、町の話や活動などを紹介しています。情報があれば、市役所秘書広報課まで。

☎ 22・3111 内線 207



▲研究の成果を発表する生徒ら



▲特産品を使った一口サイズのおにぎりを提案

西脇高校生活情報科の3年生24人が6グループに分かれ、地域活性化策を提案しました。

プレゼンテーションは授業の一環で、「北はりまエコミュージアムを活性化しよう」と発表した荻野彩奈さんは、施設の利用状況や課題などを分析した上で、黒田庄和牛や金ゴマを使った一口サイズのおにぎりを提案しました。

西脇高校



▲にぎわう物産展

西脇市は、「へそ・中心・まんなか」などを名乗る市町村と「全国へそのまち協議会」を結成しています。このたび福島県本宮市の加入を機に、全8市町村の特産品を扱った物産フェアを開催しました。

初日には1,500人が来館、北はりま農産物直売所出荷者協議会による石狩鍋や焼き鳥、「にっしー」や「にしわき宣隊ヘソレンジャー」も登場し、大いににぎわいました。

北はりま旬菜館

2/5~12

へそのまちの物産フェアを開催

3/31 森脇淑子展・山本節子展を開催



市役所2階ロビー

▲山本節子さんの作品



▲森脇淑子さんの作品

市役所2階の郷土作家ギャラリーでは、森脇淑子さんと山本節子さんの作品を展示しています。内容は森脇さんの書5点、山本さんの書5点。3月31日まで展示していますのでご覧ください（土・日・祝日は除く）。



▲歩き初めをする重春小2年生の児童



▲チョークで自画像や将来の夢を描く

国道175号「西脇バイパス」の現地見学会を開催、重春小学校2年生134名と地元住民が参加し、開通を祝いました。

児童らはトンネル北側の入口から歩き初めをした後、出口付近の路面に自画像や将来の夢を描きました。

現在は新旧トンネルとも一車線通行となっていますが、3月24日からは全線で開通予定です。

国道175号「西脇バイパス」

1/31

トンネルの高さにビックリ



▲壇上で活動報告をする生徒ら

神戸アートビレッジセンター 県では、高校生の地域社会に対する参画意識を高めることを目的に、高校生地域貢献事業を実施しています。

このたびその発表会で、西脇北高校生が「東日本大震災現地ボランティア活動とその後の西脇北」と題し発表、最優秀賞を受賞しました。

西脇北高校は「ボランティア活動を通して地域とつながる」を合言葉に、地域でさまざまな活動に取り組まれています。

1/28

東日本大震災被災地での活動を発表

1/25 東京圏の郷土出身者が集まり懇親会

東京都千代田区



▲恒例の「西脇市歌」の大合唱

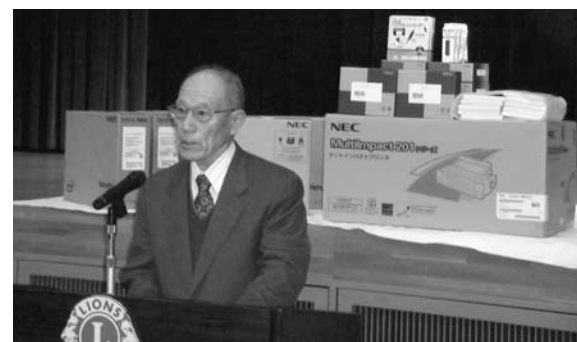
東京西協会の総会・懇親会を開催、郷土出身のおよそ60人がふるさと西脇に思いを馳せました。今年度は若い世代の新規入会者が多く、さまざまな年代が集まって大いに盛り上がりました。

東京西協会は、東京圏周辺に在住する西脇市出身者などで構成する同郷会（会員は約150人）です。

随時会員募集をしていますので、秘書広報課までお問い合わせください。

2/7 点訳用パソコンなどを寄贈

西脇経済センタービル



▲お礼を述べる福井敬朗・西脇点訳友の会会長

西脇ライオンズクラブが、障害者支援として市社会福祉協議会に点訳用パソコン、点訳専用ソフト10セットのほかプリンターなどを贈呈されました。寄贈は平成21年度から続いており、市社協からは感謝状が贈られました。

これらの機器は、目の不自由な方に、広報や新聞記事、小説などの点字翻訳ボランティア団体「西脇点訳友の会」が使用されます。

1/26

文化財を守るために消火訓練を実施



▲西脇消防署による放水訓練

法隆寺金堂の壁画が焼損した1月26日（昭和24年）を「文化財防火デー」と定め、全国ではさまざまな消火訓練などが実施されています。

市内では、「県重要文化財」兵主神社で消火訓練が行われました。住民らによる初期消火訓練や通報手順の確認、また、延焼を防ぐため、西脇消防署による放水訓練が実施されました。

黒田庄町岡・兵主神社